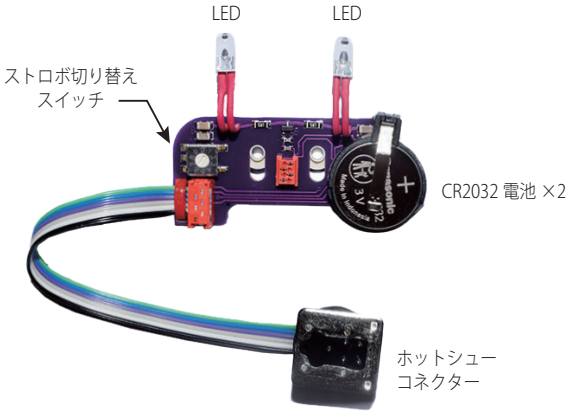
Underwater Technics

UWT HSS TTLコンバーターCANON 21720

各部名称



仕様

バッテリー:	CR2032電池×2
発光モード:	TTL調光、マニュアル、HSS（ハイスピードシンクロ）
発光回数:	約5000回
対応ストロボ:	SEA&SEA YS-250、YS-D1、YS-D3 Mark II、YS-D3 DUO、YS-D130R
	INON Z-240、D-200、Z-330、S-220
対応光ファイバーケーブル:	Nauticam NA ユニバーサルオプティカルファイバー
	Nauticam NA ユニバーサルオプティカルファイバーL
	SEA&SEA 光ファイバーケーブルII S/2コネクター
	SEA&SEA 光ファイバーケーブルII M/2コネクター
	SEA&SEA 光ファイバーケーブルII L/2コネクター
	※NAデュアルオプティカルケーブルINONおよびNAデュアルオプティカル
	ケーブルS&Sは本システムのTTL調光に対応していません。

使用方法

本製品は、カメラの発光信号をホットシュー経由で外部ストロボに伝達し、NauticamのCanon一眼レフ、ミラーレス用ハウジングでTTL調光またはマニュアル／HSS（ハイスピードシンクロ）発光が可能となります。
対応ハウジングは、WEBサイトでご確認ください。

カメラの基本セッティング

・シャッター方式を「メカシャッター」に設定します。
・露出モードは、シャッタースピードと絞りを手動で固定できる「Mモード」をおすすめします。

ストロボ切り替えスイッチの設定

本製品とあわせて使用するストロボの機種により、スイッチを切り替えます。
スイッチの切り替えは、「⇒」を回転させて該当の番号に合わせます。
※切り替えには精密マイナスドライバーをご使用ください。

0 - マニュアル発光（プリ発光OFF）
1 - INON Z-240、D-200
2 - SEA&SEA YS-D1、INON S-220、YS-D130R（HSS/TTL）*1
3 - SEA&SEA YS-D3MKII
4 - SEA&SEA YS-250
5 - No Signal
6 - INON Z-330
7 - SEA&SEA YS-D130R（HSS）*2
8 - No Signal
9 - SEA&SEA YS-D3 DUO、YS-D130R（TTL）*2

SEA&SEA YS-D3 DUO使用時のストロボ側設定
・プリ発光キャンセル設定を「5.6」（モードC）に設定してください。
・光入力設定を「1」（モード10、工場出荷時のデフォルト）に設定してください。
・マニュアル発光の場合は、ストロボのマニュアルモードを「マニュアルモード2」（プリ発光なしのシングル発光）に設定してください。

SEA&SEA YS-D130R使用時の注意
***1 2026年5月以降の製品（基盤にシールが貼付されています）**
・HSSとTTLは同チャンネルで行います。
・ストロボのカメラコードはCanon-Cに設定します。
***2 2026年4月以前の製品**
・水中で、TTL調光とHSS（ハイスピードシンクロ）の切り換えは行えません。
・陸上でのセッティング時に、TTL調光で撮影するか、HSSで撮影するか選択してください。
・TTL調光で撮影の場合はストロボ切替スイッチを「9」、HSSで撮影の場合は「7」にセットしてください。
・ストロボのカメラコードはCanon-Cに設定します。

発光モード

TTL調光

本製品に対応したストロボで、TTL調光を行うことができます。
・カメラの発光モードを「ETTL」にセットします。
・カメラのシャッタースピードは、1/250以下にセットし、・ストロボを「TTLモード」にセットします。
・TTL調光補正は、外部ストロボ側またはカメラ側で調光補正ができます。

●TTL 調光は、機材（ストロボ、レンズなど）、撮影条件（撮影距離、絞り、感度、被写体など）によって露出差が生じる場合があります。まずは、カメラとレンズのセッティングを ISO感度200 ～ 400、広角撮影の場合は絞り値 F8 ～ 16、マクロ撮影の場合は絞り値16～22 に設定しお試しください。撮影結果により、感度や絞り値を調整してください。
●マクロ撮影の場合、ストロボから被写体までの最短距離は、水中で0.35m以上（陸上テストの場合は0.7m以上）が必要です。
●2灯の外部ストロボを使用する場合は、ハウジング側のコネクターにシングルタイプの光ファイバーをそれぞれ接続してください。

マニュアル発光

マニュアル発光は、3通りの方法で行います。カメラのシャッタースピードは、1/250以下にセットします。

1.カメラメニューでのMモード設定
・TTLモードとMモードを水中で切り換えが行えるので、汎用性が高い方法です。
・サブメニューで、ストロボの発光量をカメラ側で設定することができます。
＊一部のストロボでは「1/1」に設定しないと発光しない機種もあります。
＊SEA&SEA YS-D3 DUOでは、カメラ側で発光量の制御はできません。

2.ストロボでのマニュアルモードの設定
・カメラ側は「Mモード」「発光量　1/1」に設定し、発光量はストロボ側で調整します。

3.TTLコンバーターのマニュアルモード
・TTLコンバーターのチャンネルを「0」にセットします。
・発光量の調整は、ストロボ側で行います。
＊プリ発光は、無効になります。
＊水中ではTTL調光に切り替えることはできません。

HSS（ハイスピードシンクロ）

本製品のHSSモードに対応したストロボで使用することができます。
・カメラ側のシンクロ設定を「ハイスピード」にセットします。
・ストロボ側をHSSモードにセットすることで、シャッタースピードを1/8000まで使用することができます。
・発光量の調整は、ストロボ側で行います。

カメラへの取り付け

カメラをハウジングにセットした後、TTLコンバーターのホットシューコネクターをカメラ上部のアクセサリーシューに取り付けます。TTLコンバーターは自動的にONとなります。

●基板の保護と電池消費節約のため、使用後は必ずカメラからホットシューコネクターを取り外してください。
●長期間使用しない場合は電池も取り外してください。
●本製品には電池残量を表示するインジケーターはありません。ストロボの不発光や露出不足を目処に電池を交換してください。

CR2032電池の着脱方法

1.

1枚目の電池を+側を上にして、押し込みます。

2.

1枚目の電池を指で押さえ、2枚目の電池を＋を上にして、押し込みます。

3.

2枚がぴったり重なるようにしてください。

4.

取り外しは、上側の電池を少し起こし、引き出します。

⚠
- ●金属製の棒やドライバーなどは、電池がショートする恐れがあるので、絶対に使用しないでください。
- ●電池の着脱時に基板を傷つけないよう充分注意してください。

安全にお使いいただくために

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 危険

- ●電池の端子を、金属板や針金などで接続しないでください。感電や発火の原因になります。
- ●本製品を改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。

⚠ 警告

- ●本製品を乳児、幼児など、本製品の取扱いの注意事項などについて理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。
- ●本体に電池を入れたまま保管しないでください。
- ●必ず指定の電池をご使用ください。また、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。
- ●濡れた手で電池を触ると感電する危険性があります。電池は十分に乾いた手で取り扱ってください。

⚠ 注意

- ●気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化・損傷し、破損するおそれがあります。
- ●アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になりますので絶対に使用しないでください。

株式会社フィッシュアイ

〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-29-7 TEL:03-5996-5637 FAX:03-5996-7202

www.fisheye-jp.com

E-mail:info@fisheye-jp.com

202606